

## 令和元年度事業・活動報告

1. 新旧ブロック長会議（3月31日）総会に向けての準備打ち合わせ
2. 地区自治会連合会総会（4月21日）  
事業活動報告・会計決算報告・次年度役員・事業活動計画・予算計画 承認決定した
3. 地区自連の役員会を12回開催し、運営に努めた。  
（6月4日・7月2日・8月17日・9月3日・10月1日・11月5日・12月3日・1月14日・2月4日・3月3日）
4. 新自治会長研修会（5月12日）
5. 東原・さがみ野街づくり協議会は、東地区文化センターと協力して防災講演会を実施した。  
（3月15日）
5. 市民レクリエーション大会（ふれあいスタンプラリーと健康測定）実施10月14日芹沢公園 参加163チーム409名。3回の実行委員会を開催した。（8月17日・9月1日・9月29日）

### 令和元年市民レクリエーション大会の反省と課題

まず10月14日に実施した今大会の反省点について、当日準備の段階で小雨が降っていたが協議の結果、開催することとなった。その後雨も強くなり気温もかなり低くなり参加者の皆様にご迷惑をかける結果となった。東原小学校の体育館で実施すべきだったと思う。次に、スタンプラリーの抽選券及びスタンプの紛失等、事前準備不足が露呈した。今大会は前大会より実行委員が10名ほど少なくなってしまったこと。それに伴い役割を担う人員不足。自治会ごとの受付名簿の不作成。健康測定が予定時間より30分以上長くなってしまったこと。それによりスタンプラリー参加者が雨天の中、待機時間が長くなってしまったこと。参加者に連絡するためのスピーカーの周辺に人だかりが出来たため後の参加者へ声が届かなかった。以上が当日の反省点である。

課題としては前に挙げた反省点を踏まえて以下を課題とする。天候による判断を事前にしっかりと決めておくこと。事前準備として抽選券とスタンプと養生テープの補充。実行委員減少による役割分担の変更。芹沢公園にて実施する際のレイアウトを決めておくこと。同様に雨天時の東原小学校の体育館での実施のレイアウト及び実施内容を決めておくこと。自治会ごとの参加者名簿を作成し受付をスムーズにするために各自治会名を書いた用紙の作成。ビンゴの数字を張り出すための大きな紙を2枚準備し当選者を確認するための数字確認のための用紙を4枚用意すること。健康づくり課と打合せをして健康測定の終了時間の調整をすること。以上が課題である。

6. 防犯パトロール実施  
毎月第3日曜日 年10回実施 県安全安心10月20日 市内一斉パトロール12月1日
7. 東中・南中学校区青少年健全育成協議会  
全体会（東中6月20日、9月26日、南中 月 日、 月 日、 月 日）
8. 美化デー 11月3日（日）
9. 東原コミュニティーセンター第24回コミセン祭り（11月23・24日）
10. 南中学校避難所開設訓練 6月16日 7自治会  
東原小学校避難所開設訓練 11月16日15自治会

- 避難所開設訓練に一般の方を参加させる必要はない  
⇒一般の方にも実際の避難所の様子を見て体験し、避難者名簿の記入など経験してもらう機会があった方がいい。
  
- 今回は行わなかったが、炊き出し訓練を実施すべきか  
アルファ米の加工について  
⇒担当者が湯を沸かし、自宅から持参するというのは建設的ではないと思われるため  
今後訓練を行う場合、かまどの使用許可を得て炊き出しを行う、または水での加工を行う等、協議すべきである。  
⇒校庭で火気を使用する際は消防に届け出が必要。消火器の準備も必要になる。

#### 1.1. 座間市自治会総連合会関係

- ①新旧理事会（4月20日）
- ②交通指導員協議会総会
- ③健康ざま普及員会定期総会
- ④民生委員児童委員協議会総会
- ⑤新会長研修会
- ⑥平成30年度定期総会
- ⑦理事会6回開催
- ⑧自主防災組織リーダー等研修会
- ⑨ひまわり祭り 栗原会場 座間会場
- ⑩座間市自治会役員研修大会
- ⑪高座清掃施設視察
- ⑫座間ふるさと市民祭り
- ⑬上下水道施設視察研修会

## 令和2年度事業計画 案

### 1. 自治体及び地区自治会連合会の発展のため

- ①明るく住みよい街づくりのために、その調整・研究に努め、行政に適正なる提言を行うと共に、行政の円滑な推進に努める。
- ②自治会活性化のため、加入推進を図る。また大会者の抑制に努める。
- ③自治会相互の情報交換に努める。
- ④自治会及び地区連合組織の健全な運営と発展を図るため、活動への市道・援助を行う。
- ⑤地区社会福祉協議会、民生委員-児童委員、PTA、子ども会、敬老会と連携し、住民福祉の向上に努める。
- ⑥特色ある街づくりのため、地域コミュニティの管理・運営に協力する。

### 2. 生活環境整備のため

- ①安心して暮らせる街づくりのため、防災・防犯・交通安全対策機関に協力する。
- ②「東日本大震災」を教訓とし、自主防災組織の組織化と活動強化に努める。  
地区避難所開設訓練の推進（東原小・南中）。消防団との連携を進める。
- ③毎年1月23日午前11時の座間市一斉防災行動訓練「シェイクアウト」に参加する。
- ④環境衛生関係機関と連携を密にするとともに、ゴミの分別収集を推進し、資源の再利用に努め、清潔な街づくり運動を展開する。
- ⑤健康維持関係機関と連携を密にし、健康づくりを推進する。
- ⑥安心して子どもを産み育てられる環境の整備に努める。
- ⑦高齢になっても、生き生きと暮らせる街づくりを推進する。

### 3. 地区自連の活動に必要な事項

- ①座間市自治会総連合 定期総会→5月30日（土）
- ②南中学校での避難所開設訓練→6月から7月上旬
- ③高座清掃施設視察研修会→
- ④座間市自治会総連合会 役員研修大会→
- ⑤市民レクリエーション大会→10月12日（月）
- ⑥上下水道視察研修会→
- ⑦市内一斉美化デー→
- ⑧東原小学校での避難所開設訓練→11月14日（土）
- ⑨交通事故防止と防犯活動の強化
- ⑩生活道路整備等の要望事項の取りまとめ
- ⑪市民ふるさと祭り→
- ⑫防犯パトロールの強化・実施。市内一斉パトロール→  
毎月第3日曜日 10月～翌年4月 午後4時開始  
5月～9月 午後5時開始

### 4. 特別事業計画

- ①30年7月に地区自連が中心になって立ち上げた「東原・さがみ野街づくり協議会」の活動を継続し発展させる。現在の街づくりの具体的な課題は「地域の公益施設を街づくりに活かすために」「警察官立ち寄り所の充実について」「市道38号線の横断歩道・信号機の設置について」「桜並木の改良工事に伴う街づくりについて」「介護予防について」である。31年

1月の街づくり協議会ではこの5点について提案がなされ話し合われた。具体的な取り組みはこれからである。街づくりの課題については、「子どもの居場所づくり」「高齢者の生活支援」「多発する詐欺被害の防止」「高齢者への地域社会への参加活動」等々、自治会をはじめ地域の団体や商店・企業の人たちと取り組まなければならない事が多々ある。一つずつたしかな活動をつくりあげていきたい。

#### ②市民レクリエーションを充実発展させる。

市民レクリエーションは労力と費用がかかる。地区社協をはじめ、敬老会、子ども会、PTAなどにご協力をお願いし、地域の力を結集して、楽しく有意義な「市民レクリエーション」を実現したい。地域の親睦の充実を図りたいと思う。

#### ③東原小学校・南中学校での避難所開設訓練の継続

2011年の3月11日の東日本大震災後、全国で震災への備えが進んでいる。地区自連は、昨年度も二か所に分かれて避難所開設訓練を実施した。南中学校では6月24日（土）に、東原小学校では11月17日（土）に実施した。東原小学校の訓練では、「民生委員・児童委員」や「地域防災推進員」や「健康さま普及員」の方々のご協力により実施できた。

避難所開設訓練は、実際に災害が発生して避難生活を余儀なくされた時に、自分たちの力で避難所を運営していくための体験訓練である。市によっては、宿泊をも兼ねた訓練を実施しているところもある。避難所生活が、どれだけ不自由で苦痛なものか、そしてどれだけ有り難く大事な物かを体験することが、災害の被害を大きくしないための学びでもある。

自治会を中心に、これまで地域の防災活動を担ってきた地区社協、地域の災害ボランティアネットワーク、自主防災組織、地域防災推進委員等にもご協力を頂き、子ども会や敬老会、障害をお持ちの方々等、すべての地域の方々に参加できるような企画をしていきたい。

#### ④自治会活動の活性と組織上の課題

自治会員の高齢化に伴う組織率の低下、自治会の活動への不参加、また役員の担い手の不足など、様々な課題が出てきている。高齢者の方々が同じような活動をしたり、機械的な順番で役員を担うことは無理である。だから、自治会を辞めるということではなく、特別会員として残っていただくことは大事なことである。皆が参加できないような活動は見直して、各々が出来る活動に見直すことを考えたい。

また、自治会に加入しているメリットについては、加入していることが安全安心の保障であることをしっかり確認したい。一方で、座間市自治会総連合を中心に自治会員の福利厚生について、本年度は他市の市自連との協議をしながら検討を深めたい。